

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2393100074		
法人名	学校法人 さくら学園		
事業所名	グループホームじけい 夕日		
所在地	安城市西別所町中新田20		
自己評価作成日	平成27年3月1日	評価結果市町村受理日	平成27年5月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

町内の行事に参加し交流を図っている(町内のサロン、神社掃除等に参加 ホームの喫茶に町内の方をご招待…など)事で、地域の方も訪問しやすく、グループホームの入居者様の事をご理解してもらえ機会に繋がっている
散歩や買い物、行事等で外出機会が多く気分転換が図れる
月1回の大掃除でご家族との関係を深めている
規則やルールは最低限であり、基本的な日課にとらわれず、その日の状況に応じて家族的な雰囲気の中で生活して頂いている
幼稚園・保育園・高校や専門学校との関わりがある
他施設へ慰問に行き、入居者さんが歌や体操を披露している
小規模なので、臨機応変に行事が入れれたり、1か月だけの業務変更が出来たりしている。その季節、その時々に合わせて生活を送って頂いている
気候の良い月には外に出て体を動かしている。その際地域の方との交流も図れている

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 http://www.kai.gokensaku.jp/23/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kani=true&JigyosyoCd=2393100074-00&PrefCd=23&VersionCd=022

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人『サークル・福寿草』		
所在地	愛知県名古屋市中熱田区三本松町13番19号		
訪問調査日	平成27年3月23日		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	《共に生きる》という理念のもと、町内の掃除、お参り、行事に参加し、地域の方々との交流を深めて《入居者が地域で当たり前暮らす事》を実践している。 グループホームじけいの理念を共有し念頭に置いてスタッフが仕事をしている。 地域の方と連絡を密にし、情報を得、交流を積極的に取り組み、地域に溶け込む努力をしている。 月1回開催される喫茶に地域の方をお誘いしている。 じけいが掲げる理念《慈愛・誠心・共生》が、目に見えて意識できるように習字で書いてホーム内に掲げている 地域の行事に参加している 幼稚園・保育園との交流がある 地域の方にも顔を覚えて頂き、関係が築けてきている		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方にクラブの先生をしてもらっている 町内のサロンに参加し地域のお年寄りとの交流をはかっている 神社の月一回の掃除 お参り 地域のお祭り 地域の方と一緒に踊りの発表会に出演 町内の踊りのクラブの練習に参加 地域の作品展に作品出品 夏のラジオ体操に参加 地域のスーパーに買い物に行く 地域の喫茶店を招いて月一回喫茶店を開催、その喫茶店に地域の方をご招待している 畑で採れた野菜などを持って来て下さる地域の方も等顔見知りも増えている 幼稚園行事などにも参加して交流している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の学生さんをボランティア・実習などで受け入れ、認知症の方の支援の仕方を伝えた ホームで開催する行事(喫茶店)等に地域の方々の参加を呼びかけ、関わりを持っている 今後、町内に認知症サポーターの方がどれくらいみえるかを確認し、連携が図れるといいな・・・と、運営推進会議で話し合っている グループホームを立ち上げる他の事業所の実習受け入れ 他事業所グループホームの勉強会に講師として参加した 安城七夕祭りの舞台に上がる事で、じけいの活動を地域の人々に見てもらいました		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	緊急時、助け合いが出来る様、災害が起こった時の細かな取り決めを行った・地域の避難訓練に参加した 会議に出れないスタッフには議事録を回覧し、内容把握に努めている 内容をスタッフ会議でも取り上げている 運営推進会議では、じけいでの取り組み内容を詳しく報告し、困った事などあればオープンにし、参考意見などを頂いている ひやり・事故の内容を詳しく説明し、参考意見を頂いたり、他施設の状況をうかがったりしてサービスの向上に取り組んでいる ご参加できないご家族からの意見はアンケートから聴取している		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	安城市のグループホーム部会に参加し、困った事を相談している 運営推進会議を利用し、市役所職員さん、地域包括支援センター職員さんに困難事例を相談している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	《身体拘束ゼロ》の勉強会を実施し、身体拘束が行われない様にスタッフの意識を高めている。 転倒リスクが高い入居者さんの対応に、センサーを使用することで、安全確保に努めている。 玄関の施錠は夜間のみとし、行方不明になる恐れのある方にはGPS機能の付いた携帯を持って頂く代替策で拘束をしない様にしている。 『待って』などの言葉も、言葉の抑制にならぬ様、使い方に気を使う必要がある。 入居者様の身体の体調や精神面に目を向けている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の無いケアを確認し、毎日入居者様の精神状態、身体チェック(排泄時・入浴時)を行っている。多少の擦り傷でもヒヤリハット・事故報告書に記入し、原因を確認し、家族への報告を実施している 勉強会を実施し、虐待がない様に努めている 10分ミーティングなどを利用し、ひやり・事故報告を見直し同じ事故が起きない様にしている 職員、管理者は愛情を持って入居者様に接している 言葉遣いに気を付けスタッフ同士で注意を合っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	自己決定が困難な入居者さんに対して、必ず身元引受人に相談し、判断し決定している 身寄りのない方は、NPO法人きずなの会を利用している NPO法人の事を管理者に聞いたりして知識を広げている 個々の人権を尊重し支援している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明をし、不安や疑問についても、その都度伺い、説明し、納得をして頂いている 管理者が十分な説明をしている姿をよく見る 入居者・家族等と密接な関係が築けている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご面会簿に、ご意見、ご要望をお伺いするための用紙、ご意見箱を設けてあり、お気づきの点などご記入頂き、想いをお聞き出来るようにしている(情報は共有している) 月一回の大掃除には、ご家族と一緒にスタッフもテーブルに付く様に配置し、積極的に話をし、話しやすい関係づくりに努めている、またその場でお伺いしたご希望などはケアに反映できるように努めている 面会時や電話で、ご家族にご意見ご要望をお聞きする機会を作っている 定期的にご家族にお手紙をだしたり、ご家族も参加する行事等でご意見をうかがい反映している お聞きしたご希望を反映し、ケアプランに取り入れたり、運営に反映したりした 運営推進会議にもご意見を出して頂けるようにしている、ご参加頂けない方にもアンケートを実施しご意見をお伺いしている ご家族・入居者様・スタッフで交換日記をされる方も見える 苦情・要望などの意見を、運営推進会議を通して外部者にも公表し、意見や対策を求めたりしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のスタッフ会議や、日々の申し送り、10分ミーティングにて意見を聞く機会を設けている 毎月スタッフ会議の前に意見を出してもらっている 管理者とも意見交換できている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	家庭と仕事の両立が出来るよう、勤務体制や条件を個別で適用し、女性にも優しい環境づくりが行われている(小さい子供が居ても働きやすい) スタッフが分からない事が有れば、管理者、リーダーに相談し、返答がもらえるようにしている 個々の生活スタイルに合った時間に働けるよう相談に乗り勤務してもらっている(細かい配慮がある) 正社員は月2回希望休が出せる様になっており、それ以外にも希望を聞いて休む事が出来る 3カ月に1回自己評価を行っており、自分の悪い所、向上すべき点を見直す事が出来ている 会議時スタッフ全員が良かった点について意見する機会を作っていて、遣り甲斐に繋がっている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月一回看護師による勉強会を実施している 介護の専門学校教師による勉強会の実施(リハビリ) 作った料理のメニュー・写真などを関連学校の栄養士に見てもらい助言・指導などを貰っている 研修で学んで来た事を月一回の会議で発表し、勉強会をしている 研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングして行く事を進めるようにしている スタッフ会議時職員同士で職場内研修をしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ホーム内で問題などあった時は、他ホームの対応の仕方など相談させて頂き参考にしている 他ホームのイベントに参加、他施設へ慰問に行ったりもした 他施設の見学者なども歓迎して迎えている 看護学校の研究を受け入れ、その結果を支援に活かしている グループホーム部会・連絡協議会などに参加し情報共有している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に1日ホーム体験をしてもらい本人様のニーズに気付ける様にしている 事前に入居者に会い話を聞き、安心して頂く様に努めている 入居者に話しかけ、困っていること、不安な事に耳を傾けながら安心して暮らしが出来るよう変化などに注意して支援している 1対1で関われる時間がある 入居前の事前情報アセスメントの把握に努めている ご家族と連携も取りながら、今まで過ごしてきた馴染みの私物や、お気に入りの色のカーテンなどホームに持ち込んで頂き、過ごしやすい環境づくりに努めている その方のペースに合わせて行動している		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	申込時にお困りの事、不安な事をお聞きし、記録し、ケアプランに反映させるようにしている 特に入居間もない頃は、細目に入居者の生活状況をご連絡し、ご相談し、ご家族の想いが入居者さんへの介護に反映できるように努めている 事前調査時ご家族のお話をよく聞き関係を築いている 行事等でご家族を交えて交流できる機会を設け、ご意見をお伺いしやすい関係づくりに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の状況・ご家族の要望にじけいが合っているか？、入居前に生活を見に来て頂いてご家族ご本人にご判断頂き、又スタッフもニーズに沿えるか見極めている ご本人の状態、ご家族の要望に合わせて、必要であれば他施設もご紹介している(実際にじけいからの紹介で特養に入所されたケースもある)		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<p>家族のような雰囲気、入社・退社時『ただいま』『おかえり』等言葉の工夫をしている 理念の共生を念頭に置いている 人生の先輩として接し、様々な事を教えて頂き、常に感謝の気持ちを言葉にして共に生きている 日常生活の作業を共同で行っている 食事と一緒に食べている 支えあう関係を築いている ともにゆっくり過ごせる時間を作っている 食事の準備・洗濯など、生活の中で必要な事は一緒に行っている 入居者一人一人によって出来る事を探し、やれることはやっていると 家族、祖父母の様に思い接している</p>		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	<p>入院している家族の所へ入居者さんが見舞いに行った(来てもらうだけでなく行く立場に立てた) ご家族参加の行事を企画し、本人と家族の絆を大事にしている(食事会・父の日・母の日・七夕まつり・誕生会・忘年会など) 行事の時は家族も一緒に参加して頂き、また、状態の変化を細目に報告している 一月に一回の大掃除+親睦食事会は、ご家族も、入居者も、スタッフも、一緒に掃除し、一緒にご飯を食べる ご家族にも入居者様の部屋の掃除・衣類の整頓などして頂いている 本人と家族が会えない時でも交流が持てる様交換ノート、電話、手紙、メモなどを活用している 本人のお誕生日にはご家族もお呼びして、出来る限りご参加いただいている 忘年会ではご家族にもカラオケなどご披露頂いたりもした ご家族が本人のお部屋に泊まる事も可能で、実際泊まれた事もある ご面会に少しでも多く足を運んで頂ける様接している</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族との外出・外泊も積極的にお勧めしている 入居する前に通っていた馴染みの店、喫茶店に行ったり、よく買い物に行ったスーパーに行ったりして、買い物中にお知り合いに会う事もある 地域との関係が途切れない様にしている 本人の知人の方が気軽に遊びに来れる雰囲気作りや行事、また、ご希望があれば行きたい場所に出掛けている(墓参りなど) 地域の行事には積極的に(町内の掃除・お祭り・発表会・サロン・防災訓練)参加している 友人などが面会に見える事もある 入居前に使っていた馴染みの私物を持って来て頂いている 年賀状を出し、今までの友達との関係が途切れない様にしている方も見える		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	みんなで一緒に頂きますをする みんなで食事をし、みんなで後片付け、掃除もしている 必要な所には職員が入り入居者同士が関わられるようにしている 入居者同士の性格や相性を把握し対応している 相性なども考え、外出、食事のテーブル配置など工夫している 親しくなった分トラブルも起きて来ている、トラブルになりそうな時はスタッフが間に入って対応している それぞれの出来る事をして頂いており支え合う支援に努めている リビングに入居者の皆さんが集まりやすい環境を整えている 皆で輪になってレク・行事など行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	じけいでお亡くなりになった方のご葬儀に多くのスタッフが参列した、また、お花を送ったサービス利用が終了しても、関係を大切に して、必要な支援を行っている 入院し退去された方へ、他入居者や、スタッフから寄せ書きを送った 入院、退去された方が、退院後困らない様に、介護サービスの説明、ご紹介もした 新しい生活の場でも、今までの生活が継続できるように生活状況や、支援内容などの情報提供を行った		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	今まで出来た事が、出来なくなってきても、今出来る能力に合わせ本人本位で代替を行っている 日々の会話の中から思いをくみ取れる様コミュニケーションを多く図っている 情報共有シート、24Hシートを活用し、入居者一人一人の発言や、会話、表情や行動にも目を向け、記録し、思いや意向を把握するように努めている 入居時に好きな事、嗜好を聞いている 食事、入浴、睡眠など本人のペースを大切にしている ご本人の思いが把握できない時は、ご家族に相談し検討している スタッフ会議で、多面的に本人の思いを汲み取るようにスタッフ全員で意見交換をしている 本人のやりたい事(編み物、買い物、絵画、習字など)が出来るようにサポートしている 本人のペースでやりたい事が出来る様に支援している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前調査時、前施設での様子や、ご家庭での様子をお聞きしたり、本人と話し、情報を深める努力をしている 入居時に生活歴を確認している 入居後も生活の中から暮らし方を把握するようにしている 生活歴などを記入した物をスタッフがいつでも見れる様ファイリングしてある 今までの生活で使っていた私物を入居後も使用して頂いている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居時に一日の過ごし方を聞いている 24Hシートを活用し、日々の生活を記録し、必要に応じて心身状態など分かりやすく記録している 申し送り、ミーティングを通して入居者の日々の変化を職員間で意見交換したりし把握に努めている 担当スタッフが、ケアの7つのポイント、注意点をまとめ、記入し、一月に一回更新するようにしている 入居者様自身が出来ることが見守りながら無理のないように頂く(食事・家事)。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	最低3ヶ月毎、また、介護保険更新時、状態変化時に会議を開催し、ケアプランのモニタリング、見直しを行っている 本人、家族に希望を聞き、職員間も情報交換、話し合いをし、その状態に適したプランを立案している スタッフ会議や、ミーティングなどで意見交換される情報も活用しケアプランに反映している 医師、看護師からの意見も聞き、プラン作成に生かしている 沢山の情報が収集出来るように、日々の記録を細かく取り、ご家族とのコミュニケーションも密にしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	24Hシートで個別記録を残し、情報を共有しながら実践に活かしている スタッフ会議、ミーティングでスタッフの意見交換を行い、気づき、工夫を記録し、実施している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	昨年の大みそかには紅白後0:00過ぎ深夜にもかかわらず6名の方が神社にお参りに行った一日に行う事を決めてないので、その日の気分に合わせて外出したり柔軟な対応が出来る バレンタインには手作りのチョコを作って、曾孫の家に持って行ったり、調子の悪いご家族のお見舞いなどに行った方もみえる 通院の送迎・本人の不安感を取り除くための外出など臨機応変に対応している 桜・藤の花見、お祭り見学など計画し、ご家族もお誘いして、四季を楽しんで頂ける様努めている 日々の関わりの中で状態や要望の把握に努め、適切なケアの提供に努めている 通院や入院時の対応なども、柔軟に対応している 親族の結婚式時、結婚式場への送迎や、親族の葬式時式場への送迎も行った 子供が好きな入居者さんのニーズに対応し、幼稚園、保育園児との関わりのお機会を作ったり、部屋の前でお花を育てたい方のニーズに対応し、花壇を作ったり、お墓参りに行きたい方のニーズに合わせてお墓参りの付き添いをしたりした 個性のあるケアプランの立案をしている ご家族と一緒に過ごす時間が増やせるように、ニーズに合わせて、ご家族の宿泊も可とし、お部屋の提供、必要な食事の準備なども行っている ニーズに合わせて柔軟にスタッフの動きを工夫し、朝早くのラジオ体操への参加や、夜遅くのお祭りや花火大会、踊りの練習への参加もサポートできるようにした 本人や家族の要望に迅速に応えている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内の方のご厚意により、家に成っている柿を取らせて頂いたり、お花を頂いたりした季節を感じる町内の行事(秋祭り・もちつき)や、清掃、ウォーキング、避難訓練に参加したり、作品を出展したり、踊りを発表するなど、暮らしの中で張合いが持て、楽しめるように支援している 町内の学校にボランティアを依頼し、行事時など学生さんにご協力頂いている ご家族のお力もお借りし、行事、掃除など行っている 入居者さんのエスケープ時の対応に、町内放送を活用させて頂いたり、町内の方、警察の方にご協力頂くなどした 地域の学校の学園祭にも出掛けた 地域の民謡クラブの練習に参加している 地域のサロンに参加している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関とかかりつけ医の連携も図っている 往診にも来て頂いている かかりつけ医はご本人、ご家族が選択されている、協力医療機関以外にかかられている方の受診は、ご家族を通じ、日ごろの状態などを医師へ情報提供し、ご相談するようにしている ご本人の症状に合わせて、適切な医療機関が選択できるように、協力医療機関の医師にも相談し、助言頂きながら、ご本人、ご家族に医療機関を選択して頂けるようにしている		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	パート看護師がおり、健康状態を把握している、看護師が休みの日も介護職員が状態の変化を記録し連携を取っている 月1回看護師による勉強会を行っている 看護師・訪問看護師と協力しながら入居者様の生活を支えている 訪問看護師との連絡ノートを活用している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院先の病院へ度々面会に行き、回復状況を、病院の看護師やPT、本人の様子から確認したりした 退院時の病状説明にもご家族と一緒に立ち会いをした 安城市にある、入院可能な大型病院2か所（安城更生病院・八千代病院）の地域連携室スタッフの勉強会に出席し、また、医療と福祉のネットワークという勉強会にも出席し、より良い関係が築けるように努力している 入院時は、入院先の病院へ生活状況などの情報提供をしている かかりつけ医の訪問看護を利用している</p>		
33	(12)	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居者さんご本人・ご家族の意向に寄り添いながら看取りを行う事が出来た、望んでみえた事を全て叶える事が出来た 入居時、当ホームで対応可能な行為の説明を行い、その上で①終末期はどこで迎えたか？②緊急時の対応として、延命治療を望むか？など、ご家族を通してご本人とご家族の意思を確認し、記録に残している 終末期について話し合い、本人、ご家族、職員、医療者との十分な連携が出来ている 運営推進会議でも終末期の方がみえる事を話し、地域の方にも知って頂いている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>スタッフ会議にて、介護の専門学校の教員による勉強会を行い、緊急時の対応、心マッサージ、AEDの使い方、吸引の仕方などを学んだ 看護師・理学療法士による勉強会を実施している 緊急時救急車を呼んだ時の書類などの準備がしてある</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の避難方法を学ぶ勉強会、訓練を行った 避難場所もスタッフに周知されている 地域の町内会と、協力関係の覚書を交わし、協力体制を作っている 地域の避難訓練にも参加した		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<p>人格を尊重し、言葉や声掛け態度に注意している、排泄時、入浴時のプライバシーの尊重をしている</p> <p>大きな声で言われては恥ずかしい事、皆に見られては嫌な事をわきまえて支援している</p> <p>掲示物、写真などにはご家族を通して同意書を取り、それに従いプライバシーの保護を行っている</p> <p>意思を尊重し、個々に合わせた声掛けを行う</p> <p>排泄の事などは耳元で話しかけている</p> <p>無理せず、本人のペースに合わせる様にしている</p> <p>家事をして下さった時『ありがとう』等の声掛けをしている</p>		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<p>些細な事でも自己決定出来る様、声掛けを考えたり、選び方を考えるなど工夫しながら支援している</p> <p>分かりやすい言葉で、ゆっくりと、また決定事項ではなく質問形式で話しかけるように努力している</p> <p>入浴が好きではない入居者さんに関して、本人が入りたい日を自己決定し、予定表を自らが作るようにした</p> <p>服を選んだり、些細な事でも出来る範囲で本人の意思に基づいて支援する事に心掛けている</p>		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<p>一人一人のペースを大切にし、希望に沿って支援できるようにしているが、スタッフの都合で待つ頂く事もある</p> <p>前もってやる事を決めず、その日の入居者さんの気分や体調、状況に応じて1日のやりたい事を決めて行ったりしている</p> <p>食事の時間も、幅を持たせ、その方のペースを尊重している</p> <p>入浴が好きではない方などは、1日の中で、ご本人の体調に合わせて声掛けを行っている</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	寝癖や目やに、衣類の乱れが無い様に気を付けている 本人が服を選び、また、化粧をされる方も見える 馴染みの美容院へ行きたい方はご家族の協力で馴染みの美容院へ行く ホームに訪問する美容師さんは、本人さんのしたい髪型を聞いてカット・カラー・パーマをしてくれている 本人では難しい部分の身だしなみはスタッフが手助けして身なりを綺麗に整えている 馴染みの服を持って来て頂いている 服や装飾品など、入居者さん自身が選んでいる 希望により、本人が家に欲しい服を取りに行く事もある いつでも使えるように洗面台にくしを置いている 季節の変わり目にご家族と服を購入しに行く方もみえる		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ホームの畑で採れた食材を使い、入居者様にメニューを考えて頂き、料理して頂いたりする 食器は馴染みのあるものをそれぞれ用意していただいている 準備や片付けは、その方に合わせて出来る事をしていただいている 買い物は入居者さんと一緒に出掛け、食材を選んでいる 季節に合わせたメニューをお出しするようにしている スタッフも一緒に会話しながら食事をとる 盛り付けも、その方の状態に合わせて、食べやすい様に工夫している ホームの庭でお野菜を作り、取れたお野菜を使用し入居者様とメニューを考えたりする		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<p>栄養士さんに相談しアドバイスをもらっている</p> <p>毎日食事、水分量を確認している</p> <p>水分を好まれない方には、こまめに声掛けし、その方の好みの物や、時間を見計らって提供している</p> <p>食事量が少ない方にはエンシュアを使用している</p> <p>持病、体調、体力、運動量も考慮し、食事の量も考えている</p> <p>食事形態も、その方に合わせて変えている</p> <p>代替食やメイバランス、本人の好みの飲み物などで沢山摂取出来る様にしている</p>		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<p>毎食後、歯磨きの声掛けや、見守り、必要な方には介助を行っている、義歯の方は夕食後に消毒をしている(出来る限り本人が自力で出来る様にしている)</p> <p>看護師が定期的に口腔内をチェックしている</p> <p>入居者さんの中に、《朝と夜だけでいい》と昼は拒否する方も見えるので、無理強いはいしない</p> <p>入れ歯の方は夜間消毒している</p> <p>痛みの有無、状態の確認を出来る限りで行っている</p> <p>昔からの習慣で爪楊枝を使用する方も居る</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の記録をとり、排尿パターンなどの把握に努め、必要な方には声掛けをし、トイレへの誘導を促している 出来るだけ布パンツが使用できる様パターンの理解に心掛けている 今までにずっと紙パンツを使用してみえた方が、布パンツ+パットに変更出来た方もある必要に応じて医師と相談し、薬で失禁を減らせるようにしている 個々のその時々状態に合わせた紙パンツ、パットを検討し使用している 単に定時の誘導ではなく、なるべく本人の尿意を尊重し、残存能力を活かすようにしている 排泄のサインを見逃さない様にしている 医師の協力で、薬により尿漏れを減らしている方もみえる ソワソワするなどの行動を見逃さない様にしている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヨーグルトやヤクルトなどの乳酸菌、繊維のある食材を食事に取り入れるようにしている 運動や、お腹を暖めるなどの工夫をしている ラジオ体操や、運動以外でも生活の中で散歩や、歩いての買い物、カーテンの開閉、お手伝いなどで体を動かす工夫をしている 看護師による便秘の勉強会も実施した 必要に応じ下剤を飲んでいる お腹を下す方には他のものを出す様にしている 一定時間トイレに座ってみるなど、排便を促している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴したい日を自身で予定を立てて入浴される方や、夜寝る前に入浴したい方など、個々に合わせた入浴支援をしている 楽しんでいるか？不明な方もある 個々に合わせて支援の方法、声掛けの工夫をしている 音楽が好きな方には、音楽を流し、気持ちよく入浴して頂く 脱衣場の暖房、床暖も必要に応じて使用し、環境を整えている ご本人の希望の時間、日数で入浴できるように努めている 希望により毎日お風呂に入る方もみえる 浴中マッサージや歌などでリラックスしてもらっている ホームには2種類のお風呂があり、状態や希望に合わせて好むのお風呂が使用できる体制		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人が今まで使っていた布団、枕を持って来て頂き、安心して休んで頂く環境づくりの工夫をしている 個々の好みに合わせ、照明や室温の調節をし安眠を促す 日中の活動を増やし、夜眠れるように支援する 昼間でも体調や状況に合わせて休息の時間を作る 個々の就寝のタイミングに合わせて支援を行っている 一人一人皆部屋に加湿器を持って来てみえる		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬の情報を見れるようにしている。薬に変更があった時は理由と、内容が伝わるように申し送りを行っている。 体調に変化があった場合は記録し、状況によって管理者・看護師に報告している 薬チェック表を作り誤薬に注意している、また、服薬準備は必ずスタッフ2人でダブルチェックし、また、服薬介助もスタッフ2人で確認し、最終確認でまた別のスタッフが確認するように念には念を入れている。 薬によって食べてはいけないものなど分かりやすく注意書きを記入し、周知できるようにしている 間違いが起こらないように、入居者一人一人の薬ケースがある お薬の説明書が見れるようになっており、副作用なども周知できる様になっている 飲み込みの具合を見て粉にしたり、ゼリーと服薬したりしている 薬の変更があった時は特に体調変化に気を付けている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ホーム内での日々の役割が各自あり、力を活かしている 他施設へ慰問に行ったり、張り合いのある生活をしている 入居時、また、日々の関わりの中で本人、またはご家族から知り得た情報をスタッフ間で共有し、場合によってはケアプランに反映し、出来る事を活かし張りのある生活になるように、楽しみにつながるように考え、個別の支援に活かすようにしている 天気の良い日は、外に散歩に出かけるなど、気分転換に心掛けている 編み物、塗り絵、迷路、絵手紙教室、習字クラブ、花壇のお世話、落ち葉ひろい、歌など、バリエーション豊かな楽しみごとを作っている 女性には裁縫を頼んだり・男性には力仕事を頼んだりしている 塗りえ・畑仕事・絵手紙・習字・落ち葉ひろい・歌・踊り・散歩・クラブ活動や・地域の方の慰問も沢山ある カラオケ・大正琴・ピアノ・尺八を楽しむ方もみえる		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎朝天気の良い日は散歩に出かけている 行事も多く、色々なところへ外出している ご家族との外出も多く楽しみにしている方もみえる 一人一人の希望に添えるように、思いに耳を傾け、場合によってはご家族や、地域のボランティアさんにご協力頂きながら、思いを叶える努力をしている 季節に応じた沢山の外出支援を実施してきた 日常的な、買い物、ゴミ捨て、散歩、などや、大きな行事、日帰り旅行なども行い、外出に取り組んだ 日光浴に心掛けた 地域の季節の行事にも出掛けて行き参加した 季節に央した外出(花見・芋掘り・墓参り・お祭) 外出・発表会・誕生会・園児の交流、日々に変化があり楽しみがある 宝くじを購入される方もみえる		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人がご希望されたものをご自分の財布で買い物に行く事もある 希望される入居者さんは、ご家族とご相談した上で、本人がお金を持ってみえる方もある 買い物時、出来る限り入居者さんにお金のお支払いや計算をしてもらう 好きな宝くじ・漫画を買ったりする方もみえる		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族から電話が来る方もみえる 希望があれば、いつでも電話が出来るようにしている、携帯電話を持ってみえる方が朝日に1名、夕日に1名みえて、お電話する事もある、またご家族と交換日記をされる方もみえる 月一回ご家族へお送りするお手紙に、入居者さんが書いたお手紙を入れる事もある ホームの取り組みで、10年後に届くお手紙を、それぞれのご家族に向けて書いた年賀状を出される方も見える 寂しい時ご家族に電話される方も見える 郵便で入居者様宛に手紙が届く事もある 3カ月に一回担当のスタッフが写真つきの手紙を送っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>フロアに季節を感じられるような入居者さんが作った作品の展示をしたり、花を飾ったりしている</p> <p>温度・湿度計を取り付け、快適な温度湿度を保っている</p> <p>各居室、トイレ、お風呂には表札があり、入居者さんが迷わないように工夫している、また、一人一人の居室の模様も異なり、視覚から自身の居場所を認識できるように工夫している</p> <p>扉や天窓を開けて風を通し換気に心掛け、清掃にも力を入れている</p> <p>汚れやすいトイレにはマットを敷く工夫をしている</p> <p>食事中はテレビではなく音楽を流し、心地よい雰囲気づくりに工夫している</p> <p>庭には木が沢山植えてあり、四季折々の景色を見せてくれる、お風呂からもみえる</p> <p>暖房を使用する時は加湿器を使用している</p> <p>行事の写真なども貼ってあり入居者さんもご家族も見て楽しんでいる</p> <p>フロアや洗面台に季節の花を飾るように心がけている</p>		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>テレビ前のソファでは楽しそうな会話が聞こえる事もある</p> <p>椅子とは別に、畳のスペースや、ソファを配置し、くつろげる空間づくりをしている、廊下にもベンチを作り、思い思いに過ごせるようにしている</p> <p>お部屋で一人で過ごしたり、お部屋に他入居者をお呼びし過ごしたり、皆とリビングで過ごしたり、その日の気分に合わせて過ごし方は各々様々である</p> <p>共用の空間の中に、一人で過ごせるスペースも用意している</p> <p>時々で座る場所など変えて気分転換を図っている</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本・テレビ・アルバムなどを持って見えた方も居る 居室内の家具、カーテン、寝具は、すべてご本人、ご家族にご用意頂いている、好きなカーテンの色、使い慣れた家具に囲まれ過ごす事が出来ている 居室に写真を飾るスペースがあり、ご家族との思い出の写真などを飾る方もある 居室に仏壇や、テレビ、アルバムなどを持ち込まれている方もある 今まで布団を使っていた方は布団を、ベッドを使って見えた方はベッドを持ち込まれ生活されている 居室前にキュウリを植え、ご家族と収穫された		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下の棚が手すりになっているので、歩行不安定な方でも一人で歩きやすい 居室入口、トイレ、お風呂には本人の表札がある 一人一人の身体機能に合わせてベッドの方、布団の方もみえる 布団からの立ち上がりが出来の方は、出来るだけ布団をお願いし、日常生活の中の動きでも、リハビリにつながると考え、その事を入居時ご家族にも説明をしている(ベッド・布団個々の能力を見極めている) 時計や、トイレの張り紙なども、出来るだけ入居者の目に入りやすい位置を考えて設置している 安全に生活できるように、ものにつかまって歩けるようにしているペーパータオルや、自身のタオルを置く棚を、あえて高い位置に設置し、使用する時に背筋が伸びる工夫をしている、生活のリハビリが出来るように考えている さまざまな種類の椅子があり、入居者の状態に応じた物を使用して頂いている、中にはあえて背もたれの無い椅子を用意し、自然に腹筋を使うように工夫している物もある 廊下の途中にベンチがあるので、歩行が不安定な方でも休みながら歩く事が出来る 表札や張り紙などして場所や使い方を分かりやすくしている 朝日は廊下が2つ・夕日は廊下が3つあり、それぞれにトイレ、洗面台がある		